

令和8年9月3日
政策統括官付

効率的な歩行空間ネットワークデータの整備に向けた 現地実証に係る実施団体の募集

～AIを活用したバリア情報の自動抽出に関して技術検証します～

国土交通省では、歩行空間ネットワークデータの整備促進に向けて、AIを活用することにより、歩行空間のバリア（幅員、縦断勾配、段差等）情報を自動的に抽出する方法を検討しています。検討にあたり、現地実証にご協力いただける団体を募集します。

- 国土交通省では、歩行空間における段差などのバリア情報のオープンデータ化とその利活用（段差を避けた経路検索・案内やバリアフリー施設情報の提供等）を推進し、誰もが自律的に安心して移動できる包摂社会の実現に向け、取り組んでいます。
- データ整備にあたっては多大な時間と労力を要することから、多様な主体の参画による効率的なデータ整備・更新を図るため、AI技術を用いたデータ整備支援ツールの高度化を進めています。
- 今般、AI等の活用により、歩行空間のバリア（幅員、縦断勾配、段差等）情報を自動で抽出する技術の実装とデータ整備の効率化等を検証するため、現地実証にご協力いただける団体を募集します。

1. 公募期間

令和8年9月3日（木）～令和8年10月2日（金）

2. 募集要領、提案書

別添1および別添2を参照ください。

3. 今後のスケジュール（予定）

令和8年10月2日（金）（17時必着）	募集締切
令和8年10月中旬	実施団体の選定
令和8年10月下旬～12月	現地事業の実施
令和9年1月～2月	成果とりまとめ

4. 【参考】施策の概要：参考資料1および施策ホームページ参照

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/sogoseisaku_soukou_mn_000002.html

<問合せ先>

政策統括官付 島越、内藤

代表：03-5253-8111（内線 53113、53115）

直通：03-5253-8794

